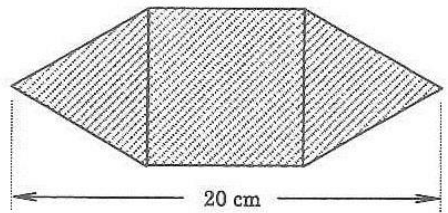


## 「挑む」ことを続ける

お話を始めるに、ちょっと算数の問題を紹介しますね。

右の図は正方形と正三角形を組み合わせた六角形です。この六角形の面積は   $\text{cm}^2$  です。



算数の問題で、一応小4の知識だけでも解けますが、とても難しい問題です。附属中学受験にも出ませんし、首都圏の有名私立でもほぼ出ないレベル。そんな難しい問題を、小学生の授業中に紹介したりします。なぜ？先生の自己満足？難しい問題で生徒を苦しめるのが好きだから？

なぜなら、お子さんに「挑む」姿勢を身につけてほしいと願っているからです。

こんな算数の問題を解けても、将来何の役にも立ちません。ただ役に立つのは、難問に挑んだという姿勢や気持ち、勇気、気合い。大人でも困難に出会った時、すぐに諦めてしまう人が多いです。そうではなく、お子さんには「困難に挑む大人」になってほしいのです。大阪万博の「太陽の塔」で有名な芸術家、岡本太郎さんが言っていました。

挑戦した不成功者と、挑戦を避けたままの不成功者とでは、天地の隔たりがある

失敗してもいい、間違えてもいい、ダメになってもいい、でも挑んでほしい。テスト勉強や受験勉強を通じてお子さんに残せるもの。

夢盟塾は、お子さんに「挑む魂」を残したいです。 (塾長 小島正義)

### ◇残席状況 (4/3時点)

- ・本部校 → 新中3と新中1がほぼ満席。この学年の募集は、塾内生の友達紹介のみ受け付けることに切り替えます。
- ・高島校 → 中3増席しました！あと10席大丈夫です。ただし、募集制限している他の学年は、あと2ずつです。
- ・もりの里校 → 新中3あと5。新中1あと4。新小6あと4。新中2はほぼ満席なので友達紹介のみ承ります。



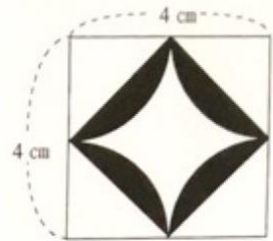
## 中学受験クラス(小3～小6)

### 金大附属中学受験の算数について

右の問題は、今年の新中学1年生が実際に受験した入試問題です。面積を求めるよくある問題ですので、裏技の(1辺)×(1辺)×0.57÷2という式で、一発で求められます。0.57という聞き覚えのない数字ですが、中学受験算数業界では有名な数字です。しかし、裏技の仕様を一切許さないのが金大附属中学の算数です。(考え方)を書かせる欄が、すべての問題についています。つまり、ちゃんと考え方を分かっていると、裏技だけでうわべの解答をした場合は×になってしまいます。ですから、どの問題も解法をしっかりと理解していないといけません。解法の説明をさせてみる、という練習も、理解を深めてもらう一つの方法です。最初は下手な説明でも、徐々に慣れて上手になってきますので、親御さんは気長に聞いてあげてください。塾でも説明練習はしています。面接テストの練習にもなりますからね。

4. 右の図で、黒い部分の面積を求めなさい。ただし、円周率を3.14として計算しなさい。

(考え方)



答え



## 高校受験クラス(中1～中3)

### 公立高校受験倍率について

高校名	定員	志願者	倍率	昨年	5年平均
泉丘	400	500	1.25	1.28	1.25
二水	400	532	1.33	1.37	1.26
桜丘	360	583	1.62	1.63	1.55
錦丘	203	355	1.75	1.51	1.42
金沢西	320	473	1.48	1.30	1.30
野々市明倫	280	350	1.25	1.25	1.18
小松	320	357	1.12	1.22	1.24
七尾	240	242	1.01	1.09	1.07

まず驚いたのは、錦丘の1.75です。一昨年の桜丘の1.68、平成24年の錦丘1.69を遥かに超える、過去最高倍率でした。県央地区では2年連続で受験生が130人ほど減った一方、今回の錦丘に加え、泉丘・二水・桜丘など上位校は定員を変わりませんでした。普通なら倍率は下がりますが、変わらない倍率から「上位校人気上昇」の傾向が伺えます。西、明倫も倍率を上げ、逆に金商を始めとする職業系の人気も激減。これは、今年の受験生が2020年以降の大学入試改革の最初の受験生になることも、その大きな要因でしょう。附属高校も、公立中からの志願者が定員割れしていた昨年から倍率も1.4に回復、内部一般受験も3倍近くの倍率を叩き出し、公立高校上以降同様、人気も上昇。上位校人気は来年も続きそうです。



# 大学受験クラス(高1～高3)

## 2020年から変わる大学入試について

### 学力の3要素

- 基礎的・基本的な知識・技能
- 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等
- 主体的に学習に取り組む態度

2020年から大学入試が変わるのは、ご存知かと思います。今までは「知識・技能」だけを試す入試でしたが、2020年以降は「思考力・判断力・表現力」と「学習に取り組む態度」も合わせて試されるようになります。まだ不明瞭な点が多いのですが、今までの勉強の常識が通じなくなるのは間違いないでしょう。保護者の方々が「勉強」と思っていたものが、今後は「勉強」ではなくなる、ということです。特に3番目。勉強イコール嫌なもの、というイメージがあると思います。塾は、その嫌なものを無理やりさせる場所、というイメージもありますよね。これからは、そういう態度で学習に臨んだ者は弾き出される、ということです。大学入学後に遊び呆ける学生が多いから、入学後の学習意欲も試そうという思いです。ですから夢盟塾では、楽しく学んでもらうことを生徒に伝えつつ、学習の意味や意義も深く考察してもらうよう指導に当たらなければ、と思います。



## 今月の本棚

### 浜村渚の 計算ノート

青柳碧人 著

講談社文庫

¥ 648

2011/6/15 発行



生徒からオススメされた本です。数学と推理小説が合体した？

ドクターピタゴラスが結社した「黒い三角定規」が、義務教育における数学の地位を向上することを求め、テロを起こします。そこで警視庁に呼ばれたのが、数学の天才、浜村渚。一連の殺人事件の被害者の名前を見た浜村さんは、それらの名前のある共通点に気付き、1つの数学の定理に結びつけ、事件を解決していくのです。その定理が、四色問題、フィボナッチ数列、円周率、などなど本格的。

数学かぁ...、と敬遠する子いるかもしれませんが、数学がよく分からなくても推理パートだけで十分楽しめます。楽しみながら数学を少しでも身近なものに感じてくれれば、と思います。

1分間  
心理テスト

■あなたは今、スキー場にいます。  
そして、ゲレンデのまん中で転んでしまいました。  
うしろから次々と人がすべって来ます。  
さて、あなたはどうしますか？

☞診断結果は最後のページに

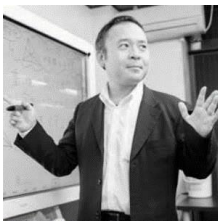
## スタッフ よもやま話



ある規則に従って数を並べたものを数列といい、自然界の現象に密接に関係する有名な数列にフィボナッチ数列というのがあって、前の2つの数を加えることで次の数が決まっています。例えば、0, 1, 1, 2, 3, ……ですね。さて、数年前に放映されたアメリカのテレビドラマに「アメリカの数列」というのが出てきて、この最初が3 1 8なので、3, 1, 8と区切ると思って8は  $(3-1) \times (3+1)$  で生成されたものと予想していたら、ドラマの後半でもう少し先まで出ていました。それが、318529632879522975611881604……もちろん8の次の5は、予想の規則では作れません。そもそも、区切りがないので、これを数列と呼べるのかも疑問です。誰か、この数列のようなものの数の現れ方を解明できる人はいませんか？ ちなみにドラマのタイトルは「タッチ」です。 (児玉)



先日、能登和倉万葉のもりマラソン 10km の部に出場してきました。春先の日本海で開催されるマラソンということで、まだまだ厳しい寒さの中で行われました。途中雨にも見舞われ、中々に厳しい道のりではありましたが、無事完走。和倉温泉にどっぷりと浸かり、イベント会場で七輪を囲んで焼き牡蠣を頬張ってきました。うーん、最高！ここまで味わってこそこの万葉のもりマラソンと言えるでしょう。マラソンに興味がお有の方は、是非是非参加してみてください！※余談私、学生時代にこの大会のフルマラソンで3時間半を記録しております。あの頃の若かりし体よ、カムバック… (原谷)



自然食レストラン「野ふうど」ってお店、ご存知ですか？ 県庁の近くのお店と、高尾台中学の前のお店と、金沢市内に2店舗あります。地元農家さんの野菜や旬なお肉や魚を美味しくいただけるビュッフェレストランです。「健康を食べてください」と掲げられた看板の通り、身体に優しいメニューがそろっています。自然食に最近ハマっている私、野ふうどによくお邪魔しています。能登豚のステーキ、金沢春菊のサラダ…っていくら身体に優しいからと言って食べすぎると、太りますね！特製カレーは密かなオススメ。 (小島)



■これは  
電車やバスで お年寄りが 乗ってきた時の 自分の反応  
なのだそうです。  
「こっちに来るな！バカヤロー！」と叫んだって人、いませんでしたか？

## 3月からスタート！ OAP 制度とは??

OAP とは、over average point の略、つまり平均点より何点上だったかを計算し、シール 20 枚貯まると図書カード 500 円分プレゼント、という制度です。

- ・中学生：定期テストなどで平均点を 10 点上回るごとにシール 1 枚 など
- ・小学生：90 点以上で 1 枚、100 点で 2 枚 など

高校生も検討中。お子さんのやる気アップの一助になれば、と願っております。